

	国文学国語学科	歴史文化学科 歴史学研究コース	歴史文化学科 考古学・民俗学研究コース
学びの特色、強み	① 国文学と国語学。2つの領域にアプローチ。 ② 附属天理図書館の資料や文学ゆかりの立地を活用して学ぶ。 ③ 盛んな学生活動を通じて、各界で活躍する人材を輩出。	① 実学としての歴史研究。バランス感覚を磨く。 ② “本物”に触れて学ぶ喜びがここにある。 ③ 研修旅行や課外ゼミ。学びのスタイルも多様に。	① 考古学と民俗学から忘れられた歴史を掘り起こす。 ② 充実した大学の施設設備を活用し、 史跡や文化財の宝庫で学ぶ。 ③ フィールドワークによる体験する学習が充実。
求める人材像	① 論理的に思考する力を身につけたい人 ② 日本の文学や言語に関する知識を身につけく真の国際人）になりたい人 ③ コミュニケーション能力を身につけたい人 ④ 新たなものを生み出す創造力を身につけたい人 ⑤ 新たな知見の発信力を身につけたい人 ⑥ 社会活動・課外活動などの分野で積極的に取り組んだ経験を有し、国文学および国語学に関心がある人	① 歴史文化に関する基礎的な知識を身につけたい人 ② 論理的思考力を身につけたい人 ③ 歴史学、考古学・民俗学に関する専門的な知識を身につけたい人 ④ 調査・収集・分析・理解する力を身につけたい人 ⑤ 構想・表現・伝達する力を身につけたい人 ⑥ アイデンティティを構築し、社会に貢献する力を身につけたい人 ⑦ 社会活動・課外活動などの分野で積極的に取り組んだ経験を有し、歴史に関心がある人	
身につく力	国文学・国語学に関する専門的な知識を得るとともに、次のような力を身につけます。 ① 資料を精査し問題の本質に到達する論理的思考力 ② 学友との議論のなかで自らの考えを正確に伝え合うコミュニケーション力 ③ 諸説を検討して新たな主張を生み出す発想力 ④ 以上の過程を通じて得られた成果を説得的に提示できる発信力	① 歴史文化に関する基礎的な知識 ② 論理的思考力 ③ 歴史学、考古学・民俗学に関する専門的な知識 ④ 調査・収集・分析・理解する力 ⑤ 構想・表現・伝達する力 ⑥ アイデンティティを構築し、社会に貢献する力	
卒業論文のテーマ例	○ 宮沢賢治『銀河鉄道の夜』論 ○ 歌謡曲における年代別ヒット曲の国語学的考察 ○ 奈良県方言の研究 ○ 『源氏物語』と音楽 ○ 中世妖怪考 ○ 『萬葉集』研究 ○ 大喜利におけるボケの分類 ○ 『東海道中膝栗毛』の研究 ○ マンガの言語表現について ○ 江戸川乱歩『屋根裏の散歩者』論	○ 『出雲国風土記』からみる人と神の関係性 ○ 浅井氏の滅亡にみる家臣団の構造 ○ 近世の薬と本草 ○ 近世城下町における火消制度の成立と展開 ○ 又春廓川本樓で働く女性たちの実態について ○ 李氏朝鮮における妓生の社会的位置づけと役割 ○ アヘン戦争における琦善の活動 ○ ニューイングランド」におけるキリスト教布教思想 ○ ノルマン＝シチリア王国ルッジェーロ2世の法令集『アリアーノのアシーセ』の史的研究	○ 甲冑形埴輪の地域性 ○ 計量分析から見る大和の中世土器 ○ 古代パレスチナの神殿模型 ○ 奄美大島における「弥生系土器」の基礎的研究 ○ 古墳時代の埋葬施設における赤色顔料―奈良県内の地域性― ○ 現代の修験道：大阪三郷大峰組を事例に ○ 地獄絵と地域社会―橿原市一町長法寺の地藏堂を中心に― ○ 「礼」と神棚から見る武道―弓道を事例に― ○ 寒施行から見た狐観 ○ 幟と旗絵―奈良県における初午行事の変化と意味―
取得可能な資格	中学校教諭一種免許状（国語）／ 高等学校教諭一種免許状（国語）／ 図書館司書／ 博物館学芸員／ 日本語教員／ 矯正・保護支援／ 社会福祉主事任用資格	中学校教諭一種免許状（社会）／ 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）／ 図書館司書／ 博物館学芸員／ 日本語教員／ 矯正・保護支援／ 社会福祉主事任用資格	
目指せる将来像	専門的な知識と指導力を持った中学校・高等学校国語教員や日本語教員および司書のほか、本学科で培った論理的思考力やコミュニケーション力、発想力、発信力を発揮して、出版や編集、企画・営業・事務など、幅広い分野で活躍できる人材を目指します。	歴史研究の基礎を学ぶことで、大学院に進学して研究を続ける道や教職について歴史を教える道に進むことができます。また、歴史学を学んだ経験は、さまざまな職業で生きてでしょう。自分で情報を手に入れ、確実な根拠に基づいて考える力、説得力のある結論を出して人に伝える力、わかりやすい正確な文章で表現する力は、企画・営業・事務など広い分野で役立ちます。	考古学・民俗学の学びを通して身につけた力は、中学校や高校教員、博物館学芸員、文化財専門職といった専門的な職業に生かすことができます。また、それだけではなく、専門的な学びを通して身につけたさまざまな力は、幅広い職種におけるキャリアの基盤とすることができます。
資格取得実績・卒業後の進路など	○ 中学校・高等学校 国語科教職免許状 取得者数 2019年度…12名／2020年度…8名／2021年度…15名 ○ 図書館司書資格 取得者数 2019年度…8名／2020年度…7名 ○ 博物館学芸員資格 取得者数 2018年度～2021年度累計…3名 ○ 大学院 進学者数 2020年度…1名	○ 中学校・高等学校 社会科・地理歴史科教職免許状 取得者数 2019年度…13名／2020年度…4名／2021年度…13名 ○ 図書館司書資格 取得者数 2018年度～2021年度累計…7名 ○ 博物館学芸員資格 取得者数 2019年度…5名／2020年度…2名／2021年度…6名 ○ 大学院 進学者数 2018年度～2020年度累計…2名	○ 中学校・高等学校 社会科・地理歴史科教職免許状 取得者数 2019年度…2名／2020年度…3名／2021年度…2名 ○ 図書館司書資格 取得者数 2018年度～2021年度累計…8名 ○ 博物館学芸員資格 取得者数 2019年度…8名／2020年度…10名／2021年度…8名 ○ 大学院 進学者数 2018年度～2020年度累計…1名

就職実績

（2020年度卒業生実績）

- 〈主な業種〉卸売・小売／教員（講師含む）／医療・福祉／建設／生活関連・娯楽／公務員／農業・林業／製造／運輸・郵便
金融・保険／学習支援／サービス／不動産・物品賃貸／宿泊・飲食／複合サービス事業／宗教（天理教） など
- 〈主な就職先〉●Francfranc●あさひ●カクタス●ロードカー●アーネストワン●ノベルズ●みやまえ●JR九州●ヨドバシカメラ
●関西丸和ロジスティクス●日産アリンス奈良販売●北伊勢上野信用金庫●ギガス（ケーズデンキ）●万代/ルビー
●高知県農業協同組合●はま寿司/イーナ●ウィルウェイ●奈良自動車学校●天理よろづ相談所病院
●日本赤十字社●防衛省自衛隊●教員（奈良県）●橿本市 他五條市

就職決定率

83.9%

Faculty of Letters

文学部

◎国文学国語学科

◎歴史文化学科〔歴史学研究コース／考古学・民俗学研究コース〕

歴史文化の故郷

古墳？！
天理大学に

環境

恵まれた

専門知識

一生ものの思考力・表現力

天理
図書館は、
宝の迷宮

人文学こそ、最高の「実学」だ。

奈良・天理という恵まれた歴史的文化的環境のもとで、文学部では日本の言語文化と、歴史学や考古学、民俗学に対する専門的知識を学ぶことができます。また、資料を自ら探索したり、学友とディスカッションしたり、仮説を立てて分析・実証したりするプロセスを通じて、複眼的な思考や発想を導き出せる感性、豊かな教養を育んでいます。

人文学は役に立たない。近年、こうした声を聞くことがあります。確かに、文学部の学びは一般的な意味での実学とは異なるかもしれません。しかし、ここでの学びのプロセスを通じて得た力は、あなたのなかに深く根ざし、一生を支える芯となります。実際に本学部の卒業生たちは、専門職はもちろん一般企業のさまざまな部署で活躍し、高い評価を受けています。また国際社会で生きるうえで、日本や日本語に対する深い理解と豊富な知識は、あなたに確かな自信と指針を与えてくれることでしょう。人文学こそ、最高の「実学」。一生ものの教養と思考力を学べる環境が、ここにあります。

文学部の学びで身につく力

国文学国語学科	国文学・国語学について少人数で実践的に学ぶことで、言葉の専門家としての力が身につきます。国文学・国語学に関するたしかな知見と能力をそなえた国語教員・司書・学芸員のほか、豊かな言語能力と教養に裏付けられた思考力は一般企業のさまざまな職種においても生かされます。
歴史文化学科	少人数教育のもと、歴史学・考古学・民俗学の深い知識や専門的技能を修得。演習や卒業論文の執筆を通じ、構想力・論理的思考力・表現力も身につきます。こうした能力は、教員や学芸員、文化財や地方創生に関わる部門の公務員などの専門職のほか、どんな職業でも広く重宝されます。



資料を探索・調査し、
情報を整理する
文化財を正確に
調査・記録する

仮説を立て、
分析・評価する

明確で豊かな
日本語で表現する

自論を的確かつ
効果的に伝える

先生・学友との議論を通じて、
自論の精度を上げる

〈目指せる未来像〉

専門性を活かし社会に貢献できる人材
幅広い分野で活躍できる人材
国際社会で通用する
深い教養を備えた人材

学部長 INTERVIEW

和やかな雰囲気の中で、専門的な知識や思考法を養います。

天理大学 文学部 学部長 吉田 茂晃



文学部で学ぶ魅力とは？

A 本学部の強みを表すキーワードは「近さ」です。ひとつは「人と人との近さ」。教員一人あたりの学生数が少なく、教員と学生の距離が近いことが特徴です。もうひとつは「学術情報との近さ」。大学附属図書館として有数の蔵書数を誇る附属天理図書館や、民俗・考古関係の資料を多数所蔵する博物館である附属天理参考館はもちろん、学生が気軽にアクセスできる蔵書が研究室のすぐ近くに充実しており、気になることはいつでも調べられます。

文学部の学生たちの雰囲気や印象は？

A 真面目な学生が多い印象です。授業中の私語もなく、熱心に受講しています。性格的には穏やかでゆったりした学生が多く、一学年の定員が少ないこともあって、お互いに気遣いあい励ましあって勉学に励んでいます。

文学部での学びは、現代社会でどのような意味を持ちますか？

A 本学部で専門的な知識や思考法が身につくことは間違いありません。国文学・国語学・歴史学・考古学・民俗学の各分野について十分な教員が配されており、バランスのとれた教育が施されています。また、少人数制のもとでのインタラクティブな授業により、コミュニケーション力や考える力も身につきます。真摯に入り乱れた情報が溢れる現代社会では、周囲に流されずに自分の意見を持つことがとても重要です。職業という局面以外でも、文学作品や歴史・習俗についての知識が、自分の人生の指針を示してくれるような経験は誰しもあるはず。人間としての「厚み」に、それらはなってくれると思います。

文学部を志望する受験生にメッセージを

A 本学部は、良い意味でとてもこじんまりしています。皆の体温が感じられるような、和やかで落ち着いた雰囲気のなかで、好きな勉強に思う存分打ち込むことができます。教員として、皆さんをいつも見守りたいと思っていますので、ぜひ一緒に勉強しましょう。

FACULTY OF LETTERS

きっかけは、
江戸川乱歩の『芋虫』でした。
国文学国語学科

八田 緋那子さん
国文学国語学科 3年次生

子どもの頃から読書が好きで、現在は近代文学の分野に特に関心を持っています。きっかけは、高校時代に読んだ江戸川乱歩の『芋虫』に衝撃を受けたこと。今後は江戸川乱歩や谷崎潤一郎を中心に深く研究したいと思っています。将来の夢は、美術館の学芸員になること。勉強を通じて計画性を身につけながら、自分磨きに励みたいです。

国文学国語学科 3年次生
八田さんの学生生活

10% ヤーカル活動
20% 読書や遊び
30% アルバイト
40% 読書

近代文学の
思想や語り口に
魅了されて。
国文学国語学科

吉井 悠人さん
国文学国語学科 3年次生

国文学・国語学の宝庫である天理図書館など、学びに最適な環境があることから天理大学に進学しました。夏目漱石や太宰治が好きで近代文学に興味を持ち、当時の時代背景からくる作者の思想や小説の語り口について学んでいます。将来は、生徒の気持ちに寄り添いながら、国語という科目を通じて教え導けるような教員になりたいです。

国文学国語学科 3年次生
吉井さんの学生生活

20% アルバイト
20% 学芸活動
30% 学芸活動
30% 教職の勉強

学びの最前線。

明治維新に惹かれ、
古文書読解に熱中。
歴史文化学科 歴史学研究コース

渡邊 勇樹さん
歴史文化学科
歴史学研究コース 3年次生

歴史の面白さを教員になって伝えたいとの想いから歴史文化学科に進学。江戸時代の支配が長く続いたことに対する興味や近代の明治維新やベリー米航の出来事に魅力を感じたことから日本史の近世・近代に興味を持ちました。現在は、古文書の読解に熱中しています。先生・友人とともに日々読解に励み、卒論につなげたいです。

歴史文化学科 3年次生
渡邊さんの学生生活

10% 研究計画
30% アルバイト
30% 読書の勉強
30% 授業の勉強

正月と年神さまについて
研究しています。
歴史文化学科 考古学・民俗学研究コース

山村 早輝さん
歴史文化学科
考古学・民俗学研究コース 3年次生

民俗学における祭りや儀礼について興味を持ち、特に正月と年神さまについて研究しています。宗教学の授業で宗教とも深い結びつきがあることを知り、テーマの奥深さに魅力を感じながら日々学びに熱心しています。モットーは、何事にも全力投球で取り組むこと。教員をめざしながら、世界遺産検定や語学の勉強にも打ち込んでいます。

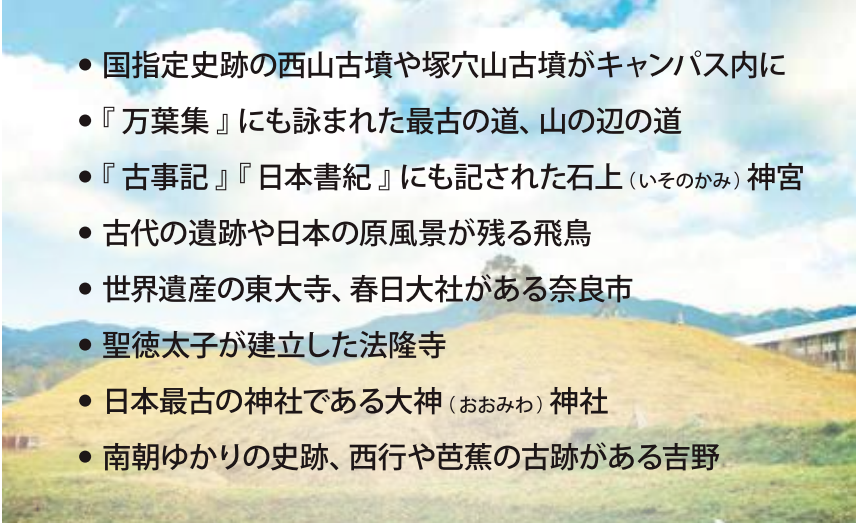
歴史文化学科 3年次生
山村さんの学生生活

10% 読書
10% アルバイト
10% 研究計画
40% さまざまな研究
30% 資格の勉強

※ 学生の年次は、2022年3月時点のものになります。

奈良・天理で学べる幸せ

奈良・天理は、日本の歴史・文化のふるさとといえる場所。
各時代の歴史的遺産があちこちに点在し、京都や滋賀、和歌山、三重などへ足を伸ばせば文学や歴史の舞台となった場所を訪ねることも可能です。

- 国指定史跡の西山古墳や塚穴山古墳がキャンパス内に
- 『万葉集』にも詠まれた最古の道、山の辺の道
- 『古事記』『日本書紀』にも記された石上（いそのかみ）神宮
- 古代の遺跡や日本の原風景が残る飛鳥
- 世界遺産の東大寺、春日大社がある奈良市
- 聖徳太子が建立した法隆寺
- 日本最古の神社である大神（おおみわ）神社
- 南朝ゆかりの史跡、西行や芭蕉の古跡がある吉野



立地ならではの授業 「大和の文化遺産を学ぶ」。

古代国家発祥の地である奈良県には、寺社や仏像、遺跡など、日本を代表する文化遺産が数多く残されています。また、県内各地で行われる伝統的な祭礼や行事、地名、話されている言葉も古代の名残をとどめ、まさに文化遺産が人々の暮らしの中に息づいています。奈良の文化遺産を学ぶことで、文学や歴史文化の扉が開きます。



「なら歴史芸術文化村」が 2022年3月にオープン。

奈良県は、歴史文化資源の「活用」と文化資源の「保存・修復」を総合的・一体的に施策展開する拠点として、仙之内キャンパスの近隣に「なら歴史芸術文化村」を開設しました。本学は、奈良県と「なら歴史芸術文化村」に関する連携協定を締結しており、施設を活用して、文化財の保存と活用を実践的に学び教育を充実させることを計画中です。

“本物”に触れて、学ぶ。

世界的に名高い天理大学附属天理図書館、天理大学附属天理参考館の豊富な文献・資料をもとに学べるのは、大きな魅力です。“本物”を知る貴重な体験は、後の人生においてかけがえのない宝物となるでしょう。



附属天理図書館

6点の国宝、86点の重要文化財を所蔵する、世界的に有名な図書館。国文学・国語学、歴史学・考古学・民俗学の研究に欠くことができない、明治・大正・昭和の蔵書も充実しています。約150万冊の蔵書を駆使して、有意義に学びを深めることができます。

附属天理参考館

世界の生活文化と考古美術の資料約30万点を収蔵する博物館。資料や作品を過去から未来へ伝え、展示を通じて新たな価値を提示しています。ふだんの授業でもよく利用するほか、博物館実習では学芸員のもとで博物館の実務に接しながら学びます。

課外活動やフィールドワークも盛んです。

少人数教育の利点を生かし、文学部では課外活動やフィールドワークを活発に行っています。様々な活動を通して、学生が教員や先輩、学外の方々と交流を深めながら学ぶ機会が豊富にあります。

国文学国語学科

万葉、中古、現代など時代ごとにわかれて文学研究を行う輪講（りんこう）は、学科伝統の活動です。夏休みや春休みには、物語ゆかりの地を訪ねる旅行が催されることも。小説輪講では、小説執筆に挑戦します。

歴史文化学科 歴史学研究コース

日本近世史料実習では、古文書解読のスキルを高め、天理市内に残る古文書や附属天理図書館所蔵の未整理史料に触れながら整理を体験します。

歴史文化学科 考古学・民俗学研究コース

考古学実習では、測量機器やドローンを使った遺跡の測量や出土品の取り扱い、記録の仕方など、遺跡調査に必要な知識と技術を実践的に学びます。また、宿泊を伴う民俗学実習では、特定の地域を対象に調査を実施。民俗資料の見学や地元の方へのインタビューを通じて、知見を深めます。



● 授業紹介

1年次	2年次	3年次	4年次
基礎を学ぶ	専門を学ぶ	専門を深める	卒業論文を書く
「国文学基礎演習」 和本を手にとって観察したり、そこに書かれた昔の文字を自分の力で解読したり、さらには作品を読むための切り口（研究方法）をディスカッションしながら発見し、考察を進めるなど、文学研究の基礎力を養います。 「国文学・国語学概論」 国文学・国語学についての必須かつ基礎的な知識（専門用語や基本概念）と方法（研究史、研究方法、文学理念等）を、それぞれのテーマごとに、テキストを用い具体的な例に即して概説します。 「（上代・中古・中世・近世・近代）文学講読」 上代（『万葉集』『古事記』）、中古（『伊勢物語』）、中世（『今昔物語集』）、近世（井原西鶴の浮世草子）、近代（太宰治の短編小説）など、さまざまな時代の文学作品を読みながら、専門的な読解方法を学びます。 「国語学基礎演習」 方言・音韻・国語史・文法・意味といった国語学の各領域の初歩的な知識を学び、基礎的な分析方法を身につけます。その上で、自分が関心を持ったテーマを選び、レポートを作成するための論の立て方を学びます。	「国語学特論」 「大学を出た」という言葉には、「大学から出発した」、「大学を卒業した」という二つの意味があります。ところが「さつき大学を出た」と「さつき」をつけると、卒業の意味にはとれません。なぜでしょうか。この授業では、普段見過ごしがちな、日本語のしくみについて考えます。 「近代文学史」 「近代」とはそれまでとどこが違う時代なのか、そのなかで文学はどう変わったのか、近代文学の流れの概要を学びます。時代を代表する作品や当時の暮らしに触れるとともに、映画と小説を比べたり、グループディスカッションを行ったりしながら、この150年間の文学の変化を眺めます。	「国語科指導法」 中学校や高等学校で授業をするための知識やスキルを身につけて、各自が指導案を立案し、模擬授業を行います。発表した模擬授業の内容について、受講生みんなが意見を出し合ったり、また、授業評価をしたりして、国語教師として教壇に立つための技術を身につける実践的な授業です。 「国語学演習」 日本国内でも、地方によって使われる言葉はさまざまです。方言はその土地の人々の生活や文化に密着したものです。この授業では、方言の研究手法やそれを行うための技術について学びます。その上で、各自が自身の興味を追求し、疑問解決のために、自ら調査・考察できるようになることを目指します。	「卒業論文演習」 それぞれ自分でテーマを選んでゼミに入ります。そして担当の先生の指導を受け、同じゼミの学生たちと議論をしながら、世界で一つしかない自分だけの論文を書きます。論文というとむずかしそうに感じますが、1年次から段階を踏んで身につけた力とゼミの仲間の助けで、みんな楽しく論文を完成させています。

● 学び深掘り

りんこう

輪講：自主勉強会で、文学を深める

自主的な勉強会で、ひとつの作品をみんなで読んで議論したり、背景を調べたりします。夏休みと春休みには、文学の舞台となった地を訪ねる旅行も楽しんでいます。『万葉集』について研究する万葉輪講では、先生の指導のもと、和歌の読みを深めます。また、山の辺の道に近い大学の立地を活かし、実際に和歌が読まれた場所へ行き、その風景を追体験することもあります。万葉輪講のほか、中古文学輪講から近世文学輪講、現代文学輪講、小説を執筆する小説輪講まで多様な勉強会があり、興味のある分野を深めることができます。

現役教員との交流会：

「先生になる」を具体的な夢に

天理大学の多くの卒業生が、中学や高校で教鞭をとっています。その人脈を活かし、実際に中学、高校で指導にあたっている先生を大学に招き、交流会を開催しています。教育現場の現状や体験を語っていただいたり、学生の相談にのっていただくほか、先生による模擬授業も実施。学生たちを前に、模造紙を使って板書のプランを示しながら、先生が普段行っている授業を実践します。この交流会と模擬授業を通して、多くの学生が現役の中学、高校教員から刺激を受け、教員志望を具体的な夢にしていきます。



中江有里客員教授の 特別講義を開講

天理大学客員教授中江有里先生が「物語の生まれる場所」というテーマで特別授業をされました。女優、作家として活躍する一方で中江先生は読書家としても知られています。授業の中では『こんぎつね』をとりあげて、新美南吉記念館にある生原稿と出版された本では、最後の文章が違うことを説明され、文学館などで生原稿をみることや、作家のふるさとを訪れて追体験をすることの大切さをお話くださいました。学生からの質問にも丁寧に答えてくださいました。

● 授業紹介

1年次 〔歴史文化学科共通〕	2年次	3年次	4年次
基礎を学ぶ	専門を学ぶ	専門を深める	卒業論文を書く

「歴史文化基礎演習」

最新の研究は通説をどのように乗り越えてきたのでしょうか。歴史学がどのように展開してきたかを理解することから、歴史を学ぶトレーニングを始めましょう。

「歴史学概論」

E.H.カー『歴史とは何か』をいっしょに読みすすめていきます。歴史学の展開、その諸問題を理解して、歴史を学ぶ意義、重要性を認識していきたいと思います。

「東洋史要説」

世界の中でも日本と関わりの深い東アジアの通史を学びます。東アジア史の全体的な流れをつかみ、専門的な学習・研究に必要な基礎知識を身につけるのが目的です。

「日本史要説」

東アジアとの外交、幕府という独特な体制、宗教勢力、災害への対応、鉄道やスポーツ・軍隊の広まりといった視点から、日本史の基礎知識を身につけます。



〔歴史学系の科目〕

「考古学概論」

遺跡を発掘したり、遺跡から出土した資料を調べたりして、過去の歴史を解き明かす考古学という学問の基礎を学びます。ふだんの教室だけでなく、附属天理参考館の展示室、日本最大の前方後方墳である西山古墳など、実際の遺跡や遺物を目の前にして学べるのが、天理大学の自慢です。

「民俗学概論」

民俗学とは人々の生活や生き方の過去と現在を考察する学問です。研究対象は衣服や食べ物・家などの目に見えるものから、祭りやまじないといった信仰、さらには昔話や妖怪にまでおよびます。民俗学の基礎を学ぶことにより、暮らしの中で培われてきた文化の捉え方を身につけます。



〔考古学・民俗学系の科目〕

「歴史学研究入門」

1年次に基礎知識を学んだ後は、そこから一歩踏み出し、論文集や学術雑誌などに収録・掲載された研究論文を読み、議論します。その中で、各分野のより専門的な知識はもちろん、歴史学の手法や論文の書き方を学び、内容的確に要約した上で発表する能力を身に付けましょう。

「東アジア史の研究」

東アジアの歴史に関する専門的な研究を学びます。日本で近世が始まる時期は、東アジア世界全体の構造が大きく変わり、清朝によって再編される時期にあたります。この時期に東アジアを学ぶことで、日本を含む東アジア世界がどのように成り立っていたかを知ることができます。

「古文書学／日本中世史の研究」

古文書学では、日本史を学ぶ上で必須となる史料を学びます。送り手と受け手の身分や関係性がどのように紙の上に反映されるのかを読み解きます。日本中世史の研究では、南北朝・室町・戦国の内乱の起こる仕組みを、日本全国と大和を対比させながら、考えていきます。



「考古学実習」

遺跡や遺物を「資料」にするための原理と技術を学びます。これはまた、考古学資料を正確に読み取る能力の習得でもあります。実習1では主に野外調査の技術を、実習2では主に整理室での技術を基礎的なものから最新の機器まで一通り学び、実習3では発掘調査に参加して実践します。

「民俗学実習」

各地の風習や祭り、言い伝えなどを調査し、記録する技術を身につけます。調査地を選び、文献を集めて事前学習を行い、画像や音声で人々の文化を記録し、成果を報告書にまとめます。他地域の生活文化に触れることで、自身の文化・社会を再認識し、人としての成長も目指します。

歴史学研究コース

〔各研究コースを選択〕

考古学・民俗学研究コース

3年次



「演習」

2年次の研究入門で少し入口をのぞいた専門研究の世界へ飛び込みます。自らの興味・関心などに従って研究テーマを設定し、それに関わる研究論文・著書（先行研究）を積極的に批判・引用しながら、史料を用いて説得力高く自らの考えを展開する訓練を積みみます。

4年次

「卒業論文演習」

歴史学を修めることは、これまでの成果を学ぶだけでなく、自ら史料を調べて自ら考え、新たな知見を得て人に伝えられるようになるということです。卒業論文は、そのような力が身についたことを証明するものです。1年間、指導教員から専門的なアドバイスを受け、他の学生と討論を重ねながら、自分の研究を形にしましょう。



「考古学・民俗学課題研究」

卒業論文作成に備えた演習です。自身の興味・関心を振り返り、考古学や民俗学の先行研究と照らし合わせ、各自の研究課題を絞ります。また、データベースの使い方、専門書や論文の読み方、発表の技術を身につけます。さらに、研究発表と討論を通じ、課題に対する理解を深めます。



● 学び深堀り

〔歴史学研究コース〕

古文書を読む会：自主ゼミで、“読む目”を磨く

授業内で古文書解読の基礎を学び、さらに上を目指したいという人は、自主ゼミ「古文書を読む会」で読む目を磨いています。古文書は、私たちが普段使っている日本語と同じように、ひらがな・片仮名・漢字で書かれていますが、くずし字で書かれているため、最初は難しく感じるかもしれません。しかし、慣れて読めるようになると、歴史の世界が一挙に広がります。これまで一般社団法人古文書解読検定協会が主催する古文書解読検定3級を学生2名が受験し、無事に合格しています。



日本史の史料講読：歴史学を深める「武器」を修得



歴史学を深めていく時の最大の「武器」が史料を正しく読む力です。中世史では『吾妻鏡』、近世史では『藤堂藩大和山城奉行記録』、近代史では『社会百方面』などを読んで、史料読解の基礎を学びます。国の政治や制度を明らかにするものから、人びとの日々の生活の息吹を感じるものまで多様な史料があります。「仍軌違如件」は「よってしつたつくだんのごとし」と読む。そしてその意味は…というように、一つ一つの言葉をおさえ、読解の努力を積み重ねることで、史料の背景を探ることができるようになるのです。

〔考古学・民俗学研究コース〕

東乗鞍古墳やイスラエルの都市遺跡の発掘調査を実施

天理大学は古墳群に囲まれており、現在はその一つ、東乗鞍古墳を発掘調査しています。教員と学生がタッグを組んでつるはしを振るいつつ、発掘に必要な技術を実地で習得します。発掘後は出土遺物を素材とし、考古資料の観察や記録の技術を学び、広く学界に紹介するところまで、自分たちの手で行うことができます。このほか、イスラエルの都市遺跡、テル・レヘシュの発掘調査を継続的にこなっています。多くの学生が発掘ボランティアとして参加し、聖書の舞台を自らの手で掘り起こす貴重な経験をしています。



民俗学実習：身の回りの文化や歴史を探る



民俗学実習は、フィールドワークを中心にした実践的な授業です。海村や山村で独特の暮らしぶりを記録したり、都会に残る過去の痕跡を訪ねたり、祭りや民俗芸能を見学したりと、様々な経験を通して民俗学を学び、調査技術を磨きます。地域の教育委員会に協力し、資料館の古い生活道具を整理することや、地域誌編集のお手伝いで古老から言い伝えを聞き取ったりすること。当たり前に見える現代日本の中に、私たちが気づかずにいる文化や歴史のあらわれを探ります。さあ、今年はどこへかけましょか。

特徴的な授業 REPORT

国文学国語学科

国語表現法

いろいろな表現に チャレンジ！



読むことは好きでも書くことは苦手という人は結構多いようです。この授業ではインタビュー記事、辞書、原稿、広告のコピー、俳句など、さまざまな表現にチャレンジ。自ら「書く」ことによって表現する楽しさを体験し、書くスキルを身につけていきます。ほとんど文章を書いたことがない人も、他人に読んでもらい批評しあう事で、表現のスキルが高められ、作品を作り上げることができるようになります。最終的には、自分の力で一つの短編小説を完成させる実力が身につきます。

国文学国語学科

国語学演習

現代日本語と笑い



人間はいつ笑うのでしょうか。赤ちゃんのかわいらしさにほほえんだり、他人の失敗をあざけったりと、笑いにもさまざまな種類があるのですが、典型的なのは〈違和感〉に気づいたときだろうと思います。たとえば右足が革靴なのに左足がビーチサンダル、みたいな状態ですね。笑芸はこの〈違和感〉を意図的に作り出すもので、その際に言語の持つ特徴が大いに役に立つのです。この授業では、大喜利を対象として言語と笑いの関係について考えていきます。

歴史文化学科 歴史学研究コース

文化交流史の研究

世界的視野で 歴史を見る



人間は古くから生活圏を超える長距離を移動し、異なる文化を持つ人々と交流を深めてきました。こうした移動や交流は時代が下るほど大規模になり、互いに与える影響も大きくなっていきます。世界規模の人間の活動は、一国の歴史や国と国との関係史だけではとらえられません。文化交流史の研究1では東アジア史を、文化交流史の研究2ではヨーロッパと日本の関係を中心に、国境を越え、また国境を引き直してきた人間の活動を学び、世界的な視野に立って歴史を見る目を養っていきます。

歴史文化学科 歴史学研究コース

日本近世史料実習

古文書解読の 基礎を学ぶ



日本近世史料実習では、古文書解読の基礎を学びます。昨年の日本近世史料実習4では、2名の卒業生が、それぞれに異なる視点で史料調査の方法について講義を実施。附属天理図書館に勤める澤井廣次さんからは、史料整理の実際と古文書を使った調査作成の基礎を、独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所に勤務する栗山雅夫さんからは、史料撮影の基本を学びました。栗山さんの講義後には、実際にカメラをセットし古文書の撮影方法を実践しました。

国文学国語学科

近世文学特論

絵を読む



「印刷された本」を「本屋で買う」ようになったのは江戸時代のこと。その江戸時代に出版された本に、名所を紹介する「名所図会」シリーズがありました。現代の観光ガイドブックのような本です。その魅力は、文字による詳細な説明と写真的に描かれた挿絵をふんだんに盛りこんでいること。この講義では、「名所図会」のなかの挿絵をとりあげ、絵を読み解くことによってみてくる江戸時代の文化の特徴や、いまを生きるわたしたちが古典を学ぶことの意義についても考察します。

国文学国語学科

卒業論文演習（中古）

自分だけの発見を 論文にする



少人数制のアットホームな雰囲気のもと、担当の先生の指導を受けたり、学生同士で議論をしたり。論文というと難しくそうですが、4年間の蓄積と仲間がいるから大丈夫。たとえば「平安文学における『雨』」というテーマで書く学生は、『源氏物語』や『伊勢物語』から雨が記される場面を抜き出して、雨が場面展開にどう関わっているのかを調べます。ほかにも「平安朝文学における色好みについて」、「和歌文学における『夢』」など、さまざまなテーマで論文に取り組みます。

歴史文化学科 考古学・民俗学研究コース

文化遺産の保存と活用

目指すは エキスパート



近年、文化遺産を地域資源として捉え、地域づくりや観光に活かしていこうという方向性が打ち出され、文化遺産に対する期待と注目が高まっています。まさに今、若い力が求められているのです。本授業では、明日香村、斑鳩町、桜井市など、先進的な取り組みを進めてきた市町村の事例を参照しながら、文化遺産や歴史的環境の保存と活用をめぐる歴史や制度、現状や課題について学びます。歴史文化学科での学びを活かし、あなたも、文化遺産のエキスパートを目指してみませんか。

歴史文化学科 考古学・民俗学研究コース

考古学・民俗学研究入門

専門性を養う



2年次の秋学期は、考古学や民俗学の知識を単に学ぶのではなく、専門的に理解できる力を養う時期です。授業の前半は、学期半ばに行うフィールドワーク「山の辺の道を歩く」の準備です。訪れる予定の遺跡や民俗的なスポットについて、グループに分かれて専門的文献をひもといて解説パンフレットを作成します。授業の後半では、考古学・民俗学の入門書を分担を決めて紹介し合い、ディスカッションします。具体的な課題をこなすことで、考古学・民俗学の確かな知識と論理性が身につきます。

● 資格・サポートなど

国文学国語学科

教職課程

全学的なキャリアアップ講座のなかの「教員採用試験対策講座」だけでなく、国語科の専門分野に特化した「教採対策講座」（現代文・古文・漢文・教職教養）を学科教員が独自に行っています。また、グループ面接や個人面接を想定した練習や、模擬授業の指導など、現役合格を目指したサポート体制をとのえています。多くの教員を輩出してきた天理大学国文ならではのノウハウを活かし、天理大学国文だからこそのできるこまやかな指導を行っています。



- 高等学校教諭一種免許状（国語）
- 中学校教諭一種免許状（国語）
- 小学校教諭一種免許状（他校との協定）

※ キャリア科目としてある教職講座や、「学びの深堀り」で取り上げた現役教員との交流会、模擬授業のほかに、教員採用試験対策講座（専任教員による古典、現代文の採用試験対策、面接指導など）が開かれます。

図書館司書課程

書物や資料の宝庫として国内外に名を馳せる天理大学附属天理図書館。その施設をかかえる天理大学は、本好きの学生の「聖地」ともいえます。この「聖地」であることを活かし、附属天理図書館の司書を講師として、貴重な書物や資料の取り扱いについて学ぶことができます。また、図書館司書課程の教員による「司書採用試験勉強会」や「知的財産管理技能士試験対策勉強会」を行っています。さらに、情報ライブラリーを利用する学生を補助するピア・サポーターズの活動も盛んです。



〈その他の資格・サポート〉

博物館学芸員課程 ／ 日本語教員養成課程 ／ 伝道課程 ／ 矯正・保護支援課程

歴史文化学科

教職課程

歴史を学ぶだけでなく、歴史を伝えたい。そんな志を胸に社会・地理歴史科の教員として教壇に立ちたいと思う人も多いでしょう。教員免許状を取得するためには、教職課程を履修します。身につけた知識を、どうすればわかりやすく伝えることができるのか。指導案作りから始まり、板書計画や教材づくりなど、アウトプットの訓練を重ねます。2、3週間におよぶ教育実習は、緊張の連続ですが、一人の教員として中学生・高校生に接していくことになります。



- 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 小学校教諭一種免許状（他校との協定）

博物館学芸員課程

博物館で働く専門職員が学芸員です。本課程を修めると、この学芸員になる資格が得られます。課程では、まず博物館の施設や制度、歴史に関する概論を学びます。続いて博物館の経営や教育、資料・情報の取り扱いや展示に関わる各論を学び、最後に実際の博物館で実習を行います。本学では、日本でも有数の資料と実績を誇る天理大学附属天理参考館で実務を体験します。この課程を通して、文化財や文化遺産に関わる仕事につく上でも有益な知識と技術が身につきます。



〈その他の資格・サポート〉

図書館司書課程 ／ 日本語教員養成課程 ／ 伝道課程 ／ 矯正・保護支援課程 ／ 社会福祉主事任用資格

卒業生メッセージ

MESSAGES

さまざまな職場で、人文学が社会を支えています。

鉄道会社職員



北海道旅客鉄道株式会社
旭川車掌所
松島 雄之介さん
歴史文化学科 歴史学専攻
2017年3月卒業

もともと歴史が好きだったことから天理大学へ。そして現在は、同じく好きが高じて鉄道業界へ進み、酸いも甘いも経験しているところで。念願の車掌試験にも合格し、今後は車掌としての道も広がっています。社会人になり、責任が増したことで不安を感じる時もありますが、大学で好きなことを突きつめて学ぶ大変さや楽しさを経験できたからこそ、今も根気よく研鑽を積んでいるのだと思います。

公務員



田原本町役場
田原本町教育委員会事務局
文化財保存課 保存活用係長
奥谷 知日朗さん
歴史文化学科 考古学専攻
2002年3月卒業

文化財の保存と活用に取り組んでいます。貴重な文化財を次世代につなぐため小学校での出前授業も実施。子どもたちが弥生時代の技術を知り驚いてくれた時にやりがいを感じます。学生時代から唐古・鍵遺跡の発掘に携わりゼミでも弥生時代の生活について専攻。天理大学には附属参考館、周辺にも神社や遺跡が多く存在しています。この環境を活かしく多くのことを学んでください。

公務員



大東市役所
福祉・子ども部 子ども室
子ども支援グループ
島田 八重さん
国文学国語学科
2016年3月卒業

4年間学ぶ中で気付いたのは、文学は書いた人の心が表れるということ、言葉を上手に使いこなすことで人間関係がよいものになるということ。文学部での学びと市役所職員の業務とは、一見関係がなさそうですが、市民と向き合うために気持ちを汲むことと言葉は不可欠です。市民が何を求めているのか、何に困っているのか汲み取り、最良のサポートにつなげていきたいと思っています。

学芸員

在学中に学芸員資格を取得し、大阪日本民芸館で勤務しています。現在の職業のきっかけとなったのは卒業論文で岡山県倉敷市での民芸運動と運動に関わった女性達について調査したこと。大学時代で思いつくのは、先生方の手厚い指導です。学芸員資格の授業では、経営的な部分まで学び実習では屏風や掛け軸の取り扱い方から、はれパネのコツまで…本当に実践的な内容を教えていただきました。大学の学びが直接将来に結び付くとは限りませんが、得た知識や経験は思わぬところで役に立ち人生の楽しみにつながるものです。大学生生活を、自分のペースで楽しんでください。



大阪日本民芸館
小野 絢子さん
歴史文化学科 考古学・民俗学専攻
2011年3月卒業

警察官



警視庁世田谷警察署
地域第二係 巡査
山切 健太郎さん
国文学国語学科
2017年3月卒業

交番に勤務し、パトロールのほか困りごと相談や110番通報のあった事案に対応して、地域の安全安心に努めています。住民の方々に頼りにされる仕事にやりがいを感じています。在学中の学びと経験は、全てプラスになっています。一番の財産は、「仲間」。辛いときも助け合いながら勉強に励んだ友人たちは、今でも大切な存在です。素晴らしい環境のなかで、一生の仲間を見つけてください。

書店員



株式会社くまざわ書店
天王寺店
松永 朋子さん
国文学国語学科
2017年3月卒業

全国に225店舗を展開する書店企業に勤め、大阪の店舗での接客や品出し、発注、在庫管理、売り場作りを行っています。大学では専攻していた中古文学を中心に、様々な時代の作品を学びました。その経験と知識は、今もお客様と接する際にも役立っています。天理大学の魅力は先生との距離が近いこと。質問しやすいアウトホームな環境のおかげで、多くの学びを吸収できたと思っています。

建物管理会社職員



セコム株式会社
テクノ事業本部 近畿支店
管理部 ファシリティ管理担当
西平 愛実さん
歴史文化学科 歴史学専攻
2016年3月卒業

セコムといえば警備のイメージが強いと思いますが、さまざまな分野の仕事があり、私は建物設備の総合管理の部署に所属しています。「誰もが安心して暮らせる社会の実現」をめざして、日々お客様の電話対応や書類送付、点検の日程調整や協力会社の管理を行っています。学生時代には自分の選択肢を広げるために教員免許と学芸員資格を取得。そこで培ったチャレンジ精神は、社会人になった今でも活きています。

銀行員



株式会社 親和銀行
総合営業グループ
高浦 太輔さん
歴史文化学科
考古学・民俗学専攻
2018年3月卒業

長崎県佐世保市に本店を置く地方銀行で勤務しています。故郷に貢献したいとの思いで就職。お客様のお役に立てるように、日々業務に励んでいます。卒論テーマは地域の祭り。現地での聞き取りを何度も行いました。その経験を通じて学んだ事前準備の大切さは、現在の仕事にも生きています。卒業後にこれを頑張ったと胸を張れるように、一つのことに邁進して取り組んでください。

高校教員



奈良県立生駒高等学校
教諭(国語科)
水原 優さん
国文学国語学科
2017年3月卒業

学生時代、最も印象に残っているのは、海外研修基金を利用して1ヶ月間ヨーロッパに滞在したこと。永井荷風や夏目漱石のゆかりの地を巡り、教養を深めるとともに、自分自身も大きく成長することができました。現在は、県立高校で国語科を担当し、2年生の副担任、茶道部とバレーボール部の顧問も務めています。今でも悩み迷った時には、学生時代の経験や先生方の言葉に背中を押されています。

起業家



株式会社CNA COMPANY
代表取締役
吉村 誠己さん
国文学国語学科
2017年3月卒業

キャンプ事業・飲食業・小売業を展開しています。起業のきっかけとなったのは、卒業論文で奈良県天川村にある洞川(どろがわ)という地域の方言を研究し、高齢化・過疎化が進む現状を知ったことです。村の活性化をめざして起業し、現在も地域の魅力を資産として活かしていくことをモットーに経営を行っています。大学で身につけたチャレンジ精神は、仕事だけでなく日常生活にも活きています。

日本近代文学への、異文化の影響を探る

国文学国語学科

教授 北川 扶生子

専門：近代文学

日本の近代文学が、異なる文化とどのように影響しあいながら展開していったのか、物語のパターンや文体から考えています。ふたつの軸があり、ひとつは夏目漱石を中心とする明治文学、もうひとつは日系移民の文学です。森鴎外は「二本足の学者」と呼ばれていました。江戸時代までの伝統的な日本文化と、最新の欧米文化の両方をよく知っていたからです。



漱石もそうです。私もよく明治の人や日系移民の人たちには、これはどう見えるかなと考えます。「今・ここ」とは違う場所で生きている人の目を知ることは、生活を豊かにし、目の前のことを解決するきっかけをくれます。歴史を遡ったり、外国に行ったり、架空の世界に没頭したり。何でも好きなことをつきつめると、豊かな贈り物をもたらえると思います。

戦国時代における社会の転換を研究

歴史文化学科 歴史学研究コース

准教授 天野 忠幸

専門：日本中世史

戦国時代、長く続いた内乱の時代から天下泰平の時代へ、どのように社会が転換していくかを研究しています。中でも、京都から足利將軍を追放して、近畿と四国を支配し「天下」を治めたと評された三好長慶や、その重臣として大和を支え、後に織田信長に仕えるが背くことになる松永久秀をテーマにしています。現代人の抱く戦国時代のイメージのほとんどは、江戸時代以降に創作されたもの。調べていくと、世間一般で思われているイメージが、実は「証拠がなかった」とか「実像とかけ離れていた」ということが見えてきます。大学では授業の取り方や休日の使い方など自由度が増し、受け身で過ごしていると、あっという間に4年が過ぎ去ります。自ら動き、積極的にチャレンジする姿勢を大切にしてください。



● 全教員紹介

国文学国語学科

教授 5名：講師 1名



教授 吉田 茂晃
研究内容：国語学(文法論)



教授 浜田 秀
研究内容：言語思想史 文体論



教授 北川 扶生子
研究内容：近代文学



教授 西野 由紀
研究内容：近世文学



教授 原 豊二
研究内容：中古文学



講師 大谷 歩
研究内容：上代文学

源氏物語をはじめとする平安文学を研究

国文学国語学科

教授 原 豊二

専門：中古文学

主に、平安文学を研究しています。学生時代に源氏物語に触れたことがきっかけで、現在の研究を始めました。研究が教えてくれるのは、昔の人も現代人と同じように生きていたのだと言うことです。時折、平安時代と今では何が違うのだろう…と考えさせられることも多くあります。人口減少にもなっており、日本の経済規模は縮小する一方です。その結果、文化的



な事業も貧しくなるでしょう。そこで大切になるのが社会活動です。ジェンダー平等を進め、環境政策を充実させ、海外からの移民をきちんと受け入れ、どんな人々に対しても差別や偏見のない社会を作ることが鍵になると思います。100年後の日本列島の姿が、もつともっと多様なものになっていることを想像しながら、今日も研究に励んでいます。

杣之内古墳群やイスラエルの遺跡を調査・研究

歴史文化学科 考古学・民俗学研究コース

教授 橋本 英将

専門：考古学・文化財科学

長く古墳時代の金属器の研究をしてきました。現在は大学周辺の杣之内古墳群をフィールドに古墳と人々が暮らす集落との関係がどう変化していくのかについて考えています。また天理大学では1960年代からイスラエルで発掘調査を継続しており、現在はテル・レヘシュという遺跡の調査に携わり鉄器時代におけるフェニキア人の活動の広がりについて検討しています。



古墳時代の研究を始めたきっかけは、学生の頃参加した岐阜県での古墳の調査が楽しく、大きめに圧倒されたこと。西アジアの考古学には、初めに就職した研究所の調査で訪れたエジプトでの発掘調査から興味を持つように。置かれた環境で何ができるかを肯定的に考え、正解を選ぶことより選んだ道を正解とするような後の努力を大切にしたいと思っています。

歴史文化学科 歴史学研究コース

教授 2名：准教授 2名



教授 谷井 陽子
研究内容：東洋近世史



教授 幡鎌 一弘
研究内容：日本史、日本宗教史



准教授 天野 忠幸
研究内容：日本中世史



准教授 黒岩 康博
研究内容：日本近代史



教授 齊藤 純
研究内容：博物館学・日本民俗学



教授 桑原 久男
研究内容：考古学



教授 小田木 治太郎
研究内容：考古学・博物館学



教授 橋本 英将
研究内容：考古学・文化財科学



講師 松岡 薫
研究内容：民俗学